

NSF、大学院生の国際的研究協力促進を目的とした「GROW」を発足（12月5日）

米国科学財団（National Science Foundation：NSF）は12月5日、NSF 大学院学生リサーチフェロー（Graduate Research Fellow：GRF）プログラムから助成を受ける大学院学生を対象とし、国際共同研究の機会を拡大・強化するための新たな取り組みとして、提携8カ国の学術振興機関との基本合意の下で「Graduate Research Opportunities Worldwide：GROW」を発足させることを発表した。

これらの提携国は、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、スウェーデン、日本、韓国、シンガポール、フランスである。

GROWに参加するフェローは、NSFのGRFプログラムの通常選考過程を経て選抜され、提携国の学術振興機関の支援により滞在費を受給しながら、3～12ヶ月間当該国に滞在し研究活動を行うことになる。

また、GROWに参加するフェローには、滞在費以外にNSFから国際旅費も支給される。

なお、GROWに関する情報の詳細は、

< [http://www.nsf.gov/funding/pgm\\_summ.jsp?pims\\_id=504876](http://www.nsf.gov/funding/pgm_summ.jsp?pims_id=504876)>からダウンロード可能。

National Science Foundation, NSF Launches GROW to Accelerate International Research Collaborations

[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=126225](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=126225)